

12.19 CIM 解決研究会第 32 回勉強会のご報告

平成 29 年 12 月 19 日

CIM 解決研究会事務局

去る紀尾井フォーラムにおいて、54 名の参加者を得て第 32 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。

正会員のみ参加の第一部では、各々が抱える問題点に関する解決法の議論が行われました。



「CIMの動向とV-nasClair のご紹介」 川田テクノシステム(株) 尾畑圭一様

CIM 導入ガイドラインの概要説明と、導入ガイドラインに沿った各種モデルの作成方法やデータの交換について、一つのシステムで全てに対応できる All in One CAD System「V-nasClair」と「Kit 製品」の機能紹介をまじえながらお話を頂きました。参加者の方からは「設計にも役に立ちそうで機会があればぜひ使いたい。」といった感想を頂きました。



「出来形だけではもったいない！点群データを便利に活用しよう」～オートデスクAECコレクションを使った活用方法と事例紹介～ オートデスク(株) 井上修様

InfraWorks や ReCap といったソフトウェアを活用することによる、水位の確認や景色の検討等といった、現場のみえる化に繋がる事例の紹介を頂きました。参加者の方からは「ダム管理は自社にも応用できるかもと思いました。」といった感想を頂きました。



「現場の3次元化事例等」 当会 福士幹雄、齊藤学一

福士からは、積雪時の出来形計測の事例や、ゴルフ場でのドローンを活用したみえる化の事例に関するお話をさせて頂きました。齊藤からは、日本スーパーマップ(株)が行っているソフトウェアの講習会等に関する報告をさせて頂きました。参加者の方からは「現場での応用事例が一番興味深い。」といった感想を頂きました。



勉強会終了後の懇親会には32名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。

